資料３

令和８年度における
本庄市水道事業ビジョンの取組み予定について

本庄市上下水道部
経営管理課
施設工務課



本庄市水道事業ビジョンに基づき推進する施策

本市では、本庄市水道事業ビジョンに目指す方向性として掲げた「安全・強靭・持続」を実現するため、令和８年１月に改定を実施し、７つの施策を設けて事業を進めています。
令和８年度におきましても、「信頼を未来へつなぐ　本庄の水道」を基本理念として、水道施設の老朽化や運営基盤の強化など、課題の解決のため計画的にそれぞれの施策に取り組みます。

目指す方向性	施策
安全	施策１　水質管理のさらなる強化（安全）
強靭	施策２　水道施設の計画的耐震化と更新（強靭）
	施策３　危機管理体制の強化（強靭）
持続	施策４　既存施設の適切な運用と長寿命化（持続）
	施策５　持続可能な経営の推進（持続）
	施策６　情報提供の拡充と利用者の利便性の向上（持続）
	施策７　新たな手法の活用（持続）

施策１　水質管理のさらなる強化（安全）

事業費　５７，２８９千円

１－１　水質検査の適切な実施

〇令和８年度本庄市水道事業水質検査計画に基づき、以下のとおり水質検査を実施します。

①原水の水質検査（本庄地域及び児玉地域の井戸１８か所）
②浄水の水質検査（浄水場４か所、給水栓６か所）
※検査項目にPFOS・PFOAを追加しています。
③原水ダイオキシン類検査（本庄１４号井、児玉６号井）
④浄水ダイオキシン類検査（第二浄水場、下真下受水場）
⑤浄水の放射性物質測定（第二浄水場及び児玉浄水場出口）
※福島第一、福島第二原子力発電所における事故発生に伴う水質検査です。
⑥埼玉県水道水質管理計画に基づく水質検査
（監視地点に指定されている第二浄水場及び本庄１３号井の水質検査）

〇施策１（安全）の成果指標における水質自動計測装置の拡充。
①老朽化した水質自動計測装置の更新を行います。



更新を予定している水質自動計測装置

１－２　水安全計画の運用

〇本市の水道水は水質に応じた浄水処理、定期的な水質検査等により、既に一定の安全が確保されていますが、水源から給水栓までの特に重要な工程を継続的に監視・制御することにより水道水の安全性をより一層高めるための水質管理計画として平成３０年度に「本庄市水安全計画」を策定し、この計画に基づいた運用を実施しています。

　水道事業ビジョンに掲げている指標のうち、末端残留塩素濃度につきましては目標値を達成しておりますが、本庄市水安全計画の推進を目的に設置する水安全委員会を活用し、継続した目標値の達成に向けた取組みを進めていきます。

１－３　貯水槽水道の衛生管理向上に向けた啓発活動の実施

〇貯水槽水道（受水槽・高置水槽）の利用者に、より安全でおいしい水道水をとどけるため、設置者による適切な衛生管理（定期の清掃及び検査）が行われるよう、広報紙や市ホームページによる啓発活動を実施します。

施策２　水道施設の計画的耐震化と更新（強靭）

事業費　１，０１６，７９３千円

２－１　浄配水施設の計画的耐震化と更新

〇浄配水施設の耐震化対策及び老朽化対策として、主に以下の業務を実施します。

①児玉中央監視室設備他更新工事（継続事業）
児玉中央監視設備は、児玉地域の浄水場や受水場等の運転制御及び施設の運転状況を監視するための設備ですが、老朽化したことから、更新工事を実施しています。

②高柳配水場場内配管実施設計業務委託
高柳配水場内の配管について、管路の耐震化を図るため、設計業務を実施します。



太駄上送水ポンプ場・沢戸加圧ポンプ場送水設備の更新

２－２　管路の計画的耐震化と更新

〇管路の老朽化対策及び公共工事の実施に伴い、以下のとおり管路の更新等を実施します。

①老朽管更新工事（延長５,０８０ｍ）
老朽化した鋳鉄管について、耐震管への布設替えを行います。

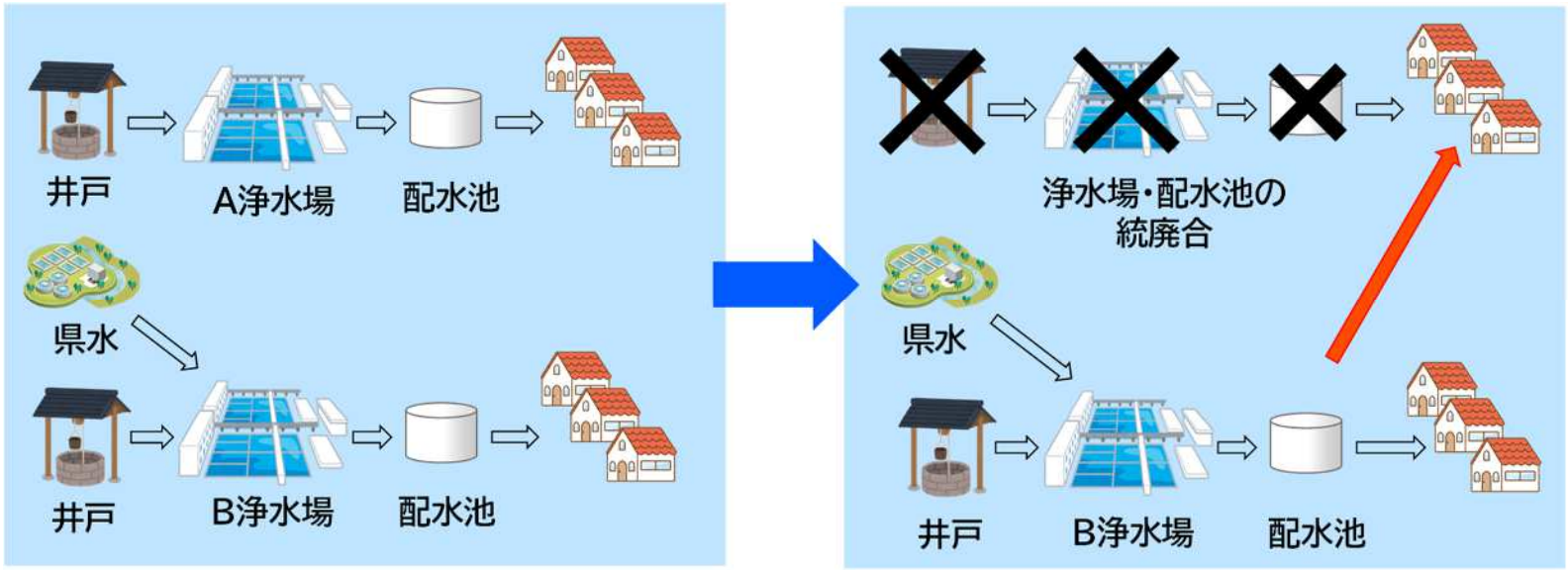
②配水管布設工事（延長５５０ｍ）
錯綜している給水管をまとめ、新たに配水管（耐震管）を布設します。

施策２　水道施設の計画的耐震化と更新（強靭）

２－３　水道施設の最適化

〇水需要に対応した水道施設の最適化に取り組むため、以下の業務を実施します。

①将来の水需要に対応した効率的を目指し、水道施設の統廃合やダウンサイジングを含めた施設整備の基本方針を定める基本計画を策定するため、今年度は基礎調査を実施します。



施策３　危機管理体制の強化（強靭）

事業費　７１９千円

３－１　危機管理対策マニュアルの改訂

〇風水害や管路事故発生時に、迅速かつ適切に応急給水活動が行えるように水道事業応急給水マニュアルに基づき効率的に実行できる体制づくりに努めます。

３－２　応急対策の拡充

〇災害発生時に使用する飲料水袋の備蓄について、引き続き計画的な備蓄を推進します。令和８年度末においては、８，０００袋を達成する見込みです。また、応急給水用仮設水槽の組立・設置を迅速に行えるよう訓練を実施します。
〇運転免許制度の改正により、保有する給水車（８ｔ）の運転業務に従事できる職員が減少していることから、漏水等の断水時に伴う給水作業で、早急に対応できるよう、準中型免許取を実施します。

３－３　他事業体との相互応援体制の強化

〇緊急時に水道事業体間等で水の相互融通を行うための災害時連絡管について、水道事業の広域化を目的として水道事業体で構成される埼玉県１１ブロック水道広域化検討部会や児玉郡内の水道事業体において、引き続き調査・研究を行います。

３－４　防災啓発の発信

〇防災啓発の発信について、危機管理課と調整を行います。



送水ポンプ場の非常電源の接続訓練状況

施策４　既存施設の適切な運用と長寿命化（持続）

事業費　９６，７８０千円

４－１　井戸の定期調査と長寿命化の実施

〇今年度の取組みはありませんが、今後適切な時期に実施するため、点検や調査を進めていきます。

４－２　施設（機械・電気設備、構造物）の保全

〇既存の浄配水施設について、主に以下の機械・電気設備の更新及び保全管理を実施します。

①浄水場・配水場のポンプ設備や計装設備等の保守点検業務

４－３　漏水率の改善

〇本市では、漏水率の改善を目的とした新たな調査を令和３年度から実施していますが、管路の老朽化が進行しており漏水の発生件数は減少していません。このことから本市が管理している「給配水管施設管理台帳」に保存された漏水情報等のデータを活用し、AI（人工知能）による漏水発生箇所の予測を行い、漏水率の改善及び更新計画を進めて参ります。



漏水修繕の状況



給配水管漏水調査業務の状況

施策５　持続可能な経営の推進（持続）

事業費　２４９千円

５－１　健全な経営の維持

〇職員が実施している業務を見直し、業務委託を拡充することでコスト削減や業務の効率化を図ります。
また、組織編成の変更による業務の効率化を推進します。

５－２　人材の確保と育成

〇積極的に研修に参加し、技術力や知識を向上させるとともに、業務マニュアルを整備します。

５－３　広域連携

〇水道メーターの共同購入に関して、１１ブロックにおける実施方法を検討します。

５－４　DXの推進

〇DXが可能な事業・事務について、洗い出しを行い、優先順位を決定します。

施策６　情報提供の拡充と利用者の利便性の向上（持続）

事業費　６７８千円

６－１　情報提供の拡充

〇水道利用者の皆さまへの迅速かつ効果的な情報提供を行うため、
各種の広報活動を実施します。

①広報ほんじょうや市ホームページにより水道に関するお知らせ等を掲載
②本市の水道に関する広報紙「水だより」を発行（年度内２回）
③市内の小学生を対象とした社会科見学の実施（都島浄水場）
④緊急漏水修繕に伴う断水や濁水が発生した際に、市のホームページや
ＬＩＮＥ（ライン）を活用した情報発信の実施
⑤水道ポータルの活用



都島浄水場で開催された社会科見学の状況

６－２　利用者の利便性の向上

〇水道ポータルを利用した各種手続をWEB及びアプリで行います。また、
クレジットカード払いやeLTAX等の導入に向け準備を実施します。

施策７　新たな手法の活用（持続）

事業費　１８，４８０千円

７－１　官民連携の推進

〇水道施設の老朽化対策として、「管路を対象としたDB方式や、強靭化として、「第二浄水場と都島浄水場を対象としたDBO方式」の検討を進めていきます。

①受注業者となる各種業界へ、管路DBによる発注方法等についてのアンケート調査や説明会を実施する導入可能性調査業務と、布設ルートや施工方法等の前提条件や予定見込額の設定に必要な基本設計業務を実施します。

７－２　GXの推進

〇水道ポータルを利用した各種手続をWEB及びアプリで行うことにより、検針票の電子化等ペーパーレス化を推進します。

H2ONJO

本庄市水道ポータル
「みずなび本庄」のロゴ



本庄市水道ポータルをWeb上で
開いたイメージ画像